

第1回 脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）運用協議会 議事録

- 1 日時 令和5年11月28日（火）19:30～20:15
- 2 場所 広島市役所本庁舎14階第7会議室
- 3 出席者 名簿のとおり
- 4 内容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ・ 改良版ジャストスコア（JUST-7）の運用実績の検証
 - ・ 今後の脳血管内治療等に係る救急患者の搬送について（案）
 - ・ 改良版ジャストスコア（JUST-7）の運用について（案）
 - (3) 閉会

【議事の概要】

1 改良版ジャストスコア（JUST-7）の運用実績の検証

(1) 説明

河野医師（兵庫医科大学）において資料1を説明

(2) 質疑応答

○ 堀江委員長

資料1の12ページでは、Covid-19の流行中においても現場滞在時間に変化はなかったと記載があるが、実際は、Covid-19の影響により、搬送困難となった症例もあるのではないかと。

○ 河野医師（兵庫医科大学）

資料1の5ページに記載しているJUSTスコア導入前とJUST7スコア導入期間の比較を見ていただくと、病院交渉1回で決定した症例の割合は82%から78%に減少した一方、現場滞在時間が30分以上要した症例の割合は6%から10%に増加しており、Covid-19の影響により搬送困難となった症例は、一定程度あったと考えている。データ解析を行った際にも、現場滞在時間が極端に長い症例が増えている印象を受けた。

○ 堀江委員長

JUSTスコアからJUST7への変更により、救急隊の入力項目が21項目から7項目に削減されたことで、項目の該当性について判断に迷う場面が少なくなるなど、救急隊の負担は軽減されたのではないかと。

○ 森川課長補佐（広島市消防局救急課）

同感である。

○ 堀江委員長

救急隊の現場到着から病院収容までの時間に関するデータはあるのか。

○ 河野医師（兵庫医科大学）

当該データについては、資料1に記載していないが、システム上で確認したところ、有意差を認める結果ではなかったが、Covid-19の影響により救急隊の現場到着から病院収容までの時間は長くなっている印象を受けた。

2 今後の脳血管内治療等に係る救急患者の搬送について（案）

小林課長（広島市医療政策課）において資料2を説明

（資料2のとおり検証していくことについて、意見交換を行い、各委員から異論は出なかった。）

3 改良版ジャストスコア（JUST-7）の運用について（案）

小林課長（広島市医療政策課）において資料3を説明

（資料3のとおり運用の見直しを行うことについて、意見交換を行い、各委員から異論は出なかった。）